

令和6年度 事業報告書

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

公益財団法人 全国学校農場協会

令和6年度事業報告

《 概 要 》

コロナ禍での生活も5年目に入り、この間に社会へは基より人々の日常生活にも大きな影響を及ぼし、特に定年年齢の延長や働き方の多様化など、また経済活動における金品の移動や決済の仕組み等に顕著な変化を齎している。

この様な状況にあってようやく先の見通しに期待を以って迎える事ができると思っていた令和6事業年度であったが、コロナ禍生活の後遺症は意外と根深く、特に多数で実施する事業は、あと一步の成果が望まれる結果であった。

しかし、その中でも通信・情報技術のめざましい発達をとげ研究発表並びに研究協議はオンライン会議やハイブリッド開催など多忙な学校勤務の中で有意義な参加形態を可能にし、意見交換も活発であり、盛会のうちに有意義な研修会であったとの好評を得られた。

I、教育行政・農政・学術・学際的講演及び演習による農業教育を推進する事業

※本事業は原則一般公開：内容等の詳細は当協会ホームページで告知

1、講演事業の実施

農業教育に携わる教職員の資質の向上と広く国民に農業及び農業教育の重要性和理解の深化を図るため、最新の農業技術や研究の成果、農業現場の実態や動向を内容とした以下の講演事業を実施した。

『全国大会講演』・・・全国高等学校農場協会と共催

演 題：「日本の食料安全保障と農業の方向性について」

講 師：(株)資源・食糧問題研究所

代表 柴田 明夫 先生

講 演：「高等学校教育の現状と課題について」

講 師：文部省初等中等教育局参事官

高等学校担当 田中 義恭 先生

『農業教育研究協議会講演』

講 演：「これからの農業高校に求められること」

講 師：大分県立久住高原農業高等学校

校長 佐藤 智之 先生

講 演：「高等学校教育の現状と課題について」

講 師：文部省初等中等教育局参事官

高等学校担当 橋田 裕 先生

講演：「新規就農対策について」

講師：農林水産省経営局

就農女性課長 尾室 幸子 先生

『各支部大会における講演』・・・全国高等学校農場協会の各 8 支部と共催

全国高等学校農場協会の全国 8 支部が実施する各支部大会で開催する講演会を共催として支援を行った。

2、褒賞事業の実施

1) 農業教育功労者表彰

永年に亘って農業教育に携わり、農業の知識・技術は基より我が国の農業並びに農業教育の振興・発展・充実に多大の貢献をした者を全国 8 支部から表彰候補者として推薦する。その候補者を審査委員会において表彰規定に基づいて厳重に審査し、その合格者へ支部大会において褒賞の贈呈を行うものである。令和 6 年度の審査結果は下記の通りである。

	表彰推薦 候補者数	功労賞 受賞者	感謝状 受賞者	不合格者
北海道	3	3	0	0
東北	14	14	0	0
関東	6	6	0	0
北信越	5	5	0	0
近東	8	8	0	0
中国	7	7	0	0
四国	5	5	0	0
九州	12	12	0	0
計	60	60	0	0

2) 第 8 回和牛甲子園出場入賞校の表彰(担当：葦塚)

J A 全農との共催事業である令和 6 年度第 8 回和牛甲子園を共催し、和牛甲子園において入賞した学校を表彰した。

本競技会は、農業高校の生徒が黒毛和牛を約 30 ヶ月肥育し、その間の取り組み・活動状況の審査と肥育した和牛の肉質審査結果からの総合得点で順位を競うものである。

(i) 開催日： 令和 7 年 1 月 16 日 (木) ～1 月 17 日 (金)

(ii) 会場： 東京都中央卸売市場食肉市場・品川グランドホール

(iii) 出場： 全国 25 道府県, 40 農業高校、黒毛和牛 63 頭出場

【審査結果】

総合評価部門・最優秀賞： 広島県立西条農業高等学校

取組評価部門・最優秀賞： 岐阜県立加茂農林高等学校

枝肉評価部門・最優秀賞：鹿児島県立鹿屋農業高等学校

3) 第16回エッセイコンテストの実施(担当：友光)

(1) 応募総数：各校で厳選された作品14編

(2) 審査会：令和6年12月18日(水)

(3) 審査結果：最優秀賞 1編
優秀賞 3編
佳作 2編

表彰は、賞状・副賞・記念品を公益財団法人全国学校農場協会より贈呈する。

II、調査研究並びに学術的内容を主とした研究協議を通して、農業教育と農業教員の質的向上を図る事業の推進

1、調査研究発表並びに研究協議

1) 第73回全国大会の開催：令和6年6月13日(木)・14日(金)

全国理事会・調査研究発表・研究協議会・講演会開催

2) 各支部大会の開催：全国8支部で開催、分科会形式調査研究発表の開催並びに研究協議会の開催、講演会の開催(夏季休業中)

3) 令和6年度第61回農業教育研究協議会開催：令和6年12月5日(木)・6日(金) 調査研究成果の各支部代表発表並びに研究協議と講演会の開催

《調査研究活動の充実を図るため発表方法を以下に変更する》

農業及び農業教育の調査・研究活動の一層の充実を図るため、第59回農業教育研究協議会から全国農業高等学校長協会と連携し、農業の分野・領域を当公益財団法人と共通の下記4系列部会に集約統一し、発表方法並びに研究協議会も以下のように変更して実施して、全国からの参加者が研究成果を共有することができるなど顕著な成果を得ることが出来た

【設置系列部会】

- i、生産経営系部会 飼育、栽培、機械 情報の領域
- ii、環境創造系部会 森林 農業土木 造園の領域
- iii、資源活用系部会 食品 生活、地域交流の領域
- iv、学校経営系部会 農場経営、農業経営者育成 学校特色化の領域

III、学術及び科学技術の推進と向上を目的とする事業

1、農業実験実習講習会の実施

令和6年度は第68回農業実験実習講習会として全国6地区で、また農業技術研修会として1地区(九州)で開催し、会員の要望に応える事ができた。

各地区の実施概要は以下の通りである

【各地区農業実験実習講習実施概要】

地区	科目	会場	場所	期間
----	----	----	----	----

北海道	栽培と環境	帯広畜産大学	北海道帯広市	7月29日(月)～8月2日(金)
東北	農業と環境	福島大学	福島県福島市	8月19日(月)～8月23日(金)
関東	食品化学・ 食品製造	山梨大学	山梨県甲府市	8月5日(月)～8月9日(金)
北信越	農業と環境	福井県立大学	福井県あわら市	8月19日(月)～8月23日(金)
近東	農業と環境	龍谷大学	和歌山県大津市	8月19日(月)～8月23日(金)
四国	農業と環境	愛媛大学	愛媛県松山市	8月5日(月)～8月9日(金)

【農業技術研修会実施概要】

九州	農業機械・ 森林科学	長崎県農林技術 開発センター	佐賀県佐賀市	8月19日(月)～8月21日(水)
----	---------------	-------------------	--------	-------------------

IV、農業・食料・健康教育など農業に関わる領域をテーマとするフォーラム等を通して農業と農業教育の振興と役割の重要性の深化を図る事業

1、農業女子フォーラムの開催

- 1) 開催担当地区：関東地区（中止）
- 2) 開催日：令和6年12月〇日（〇） 〇：〇～〇：〇
- 3) 開催会場：中止
- 4) 主催・担当校：公益財団法人全国学校農場協会
：全国高等学校農場協会関東支部
：〇〇〇〇〇高等学校
- 5) 内容：基調講演、就農女子体験発表、パネルディスカッション他

2、学会主催研究発表会における農業高校生による研究活動成果発表の実施

実践総合農学会と連携し学会主催の個別研究報告において、研究者の論文発表の中に開催地域の農業高校生の研究活動の成果を発表する時間を設定して高校生発表会を実施、研究者は基より一般参加者からも大変な好評を博した。

- 1) 開催地：東京農業大学世田谷キャンパス・サイエンスポート
- 2) 開催日：令和6年12月14日（土）
ハイブリッド方式で開催：個別研究報告＝個人発表：16発表・発表賞審査
高校生発表＝茨城県立水戸農業高等学校
〃＝茨城県立水戸農業高等学校
〃＝東京都立農産高等学校
- 3) 主催：実践総合農学会
連携・協力：公益財団法人全国学校農場協会
後援：東京農業大学

V、図書並びに機関紙等の刊行事業

1、「公益財団法人全国学校農場協会新聞」の発行

当公益財団法人の活動や事業の状況、全国の農業や農業教育に関する情報、

生徒・職員の取り組みや活動等に関する情報を収集し、会員や農業教育に携わる人々や関係教育、関係研究機関、大学、関係企業等へ広く配布する。

2、全国の農業高校を対象として教育内容・教育方法・教育実践や実験実習施設・設備等教育環境や教育条件に関わる継続的実態調査研究と活動の成果、また全国の各農業高校で推進している地域連携や取り組み等を事業年度末に研究集録としてまとめて刊行し、関係省庁や研究機関、教育機関等へ広く配布して農業教育の理解の深化と普及並びに振興の一助としている。

3、農業実習等に対応した補助教材の研究開発と刊行

農業実習科目「農業と環境」で扱う“トウモロコシ”“ダイコン”等の作目に対応した『農業学習ノート』を開発刊行して実習学習の成果を高めるための補助教材の研究開発を進める。また引き続き好評の『実習手帳』を発刊して実習教育全体のレベルアップと充実を図る。

VI、令和6年度会務事業の実施

1、令和6年度第73回全国大会並びに研究協議会

6月13日(木)～14日(金) ハイブリッド開催 星陵会館

2、第61回農業教育研究協議会

12月5日(木)～6日(金)

衆議院第一議員会館、・国立オリンピック記念青少年総合センター

3、全国理事会 6月12日(水) 12月5日(木)

4、支部長会 6月12日(水) 12月4日(水)

5、常任理事会 4月23日(火) 5月17日(金)

6月28日(金) 9月13日(金)

10月11日(金) 11月13日(水)

2月14日(金) 3月4日(火)

6、総務局会議 常任理事会開催前随時(4月3日、4月23日、5月17日、6月28日、7月10日、9月13日、10月11日、11月13日、11月27日、2月14日、3月4日、3月26日)

7、各局会議 常任理事会後開催、夏季休業中に開催

8、支部大会・各支部会議 全国8支部で開催

以上、公益財団法人全国学校農場協会は定款に定める目的を達成するため、令和6事業年度においてはここに要約した諸活動並びに事業を実施した。

当公益財団法人は設立以来、我が国の農業並びに農業教育の振興と専門教育としての知識・技術の向上を図るため、教育内容や指導方法の改善、教員の研究・研修活動の奨励や支援等の事業を実施してきた。しかし、この5年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響は顕著で団体での事業・活動運営等において計画通りに進めることは

十分には叶わなかったが、実施した事業・活動等ではそれなりの成果と目標達成を
果たす事が出来たと評価している。 以 上